

Eat Well, Live Well.



第148回 定時株主総会 招集ご通知



「アジパンダ」「アジパンナ」は
味の素グループのキャラクターです。

開催
日時

2026年6月19日(金曜日)
午前10時00分〔開場 午前9時00分〕

開催
場所

東京都千代田区丸の内一丁目1番1号
パレスホテル東京 2階「葵」

決議
事項

第1号議案 剰余金の処分の件
第2号議案 定款一部変更の件
第3号議案 取締役10名選任の件

お土産・試供品のご用意はございません。

目次

第148回定時株主総会招集ご通知	1
議決権行使方法のご案内	3
インターネットによる ライブ配信・事前質問受付のご案内	5
代表執行役社長からのメッセージ	7
株主総会参考書類	9
第1号議案 剰余金の処分の件	
第2号議案 定款一部変更の件	
第3号議案 取締役10名選任の件	
事業報告	22
連結計算書類	55
計算書類	57
監査報告書	59

書面交付
請求されていない
株主様は
ウェブサイトをご
確認ください。

電子提供制度のご案内



+



書面交付請求 されていない株主様

1～21ページまでお送りしています。
22ページ以降は当社ウェブサイトをご覧ください。



書面交付請求 された株主様

全てのページをお送りしています。

味の素株式会社

証券コード 2802

株主各位

東京都中央区京橋一丁目15番1号
味の素株式会社
取締役
代表執行役社長 中村茂雄

第148回定時株主総会招集ご通知

拝啓 株主の皆様には、平素よりご支援お引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第148回定時株主総会を下記により開催いたしますので、ご通知申し上げます。

本株主総会の招集に際しては電子提供措置をとっており、インターネット上の以下の各ウェブサイト
に電子提供措置事項を掲載しております。いずれかのウェブサイトにアクセスの上、ご確認ください。

▶ 当社ウェブサイト

<https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/shareholder/meeting/>



▶ 東京証券取引所ウェブサイト

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>

上記のウェブサイトにアクセスして、当社名又は証券コードを入力・検索し、
「基本情報」「縦覧書類/PR情報」を順に選択の上、ご覧ください。



なお、当日ご出席されない場合は、書面(議決権行使書用紙)又は電磁的方法(インターネット)により議決権を行使くださいますようお願い申し上げます。

書面又は電磁的方法による議決権の事前行使にあたりましては、お手数ながら後記の「株主総会参考書類」をご検討くださいます。2026年6月18日(木曜日)午後4時30分までに議決権を行使くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1 日時

2026年6月19日(金曜日)午前10時〔開場 午前9時〕

2 場所

パレスホテル東京 2階「葵」

東京都千代田区丸の内一丁目1番1号

3 会議の
目的事項

- 報告事項**
1. 第148期(2025年4月1日から2026年3月31日まで)事業報告および連結計算書類の内容ならびに会計監査人および監査委員会の連結計算書類監査結果報告の件
 2. 第148期(2025年4月1日から2026年3月31日まで)計算書類の内容報告の件

- 決議事項**
- 第1号議案 剰余金の処分の件
 - 第2号議案 定款一部変更の件
 - 第3号議案 取締役10名選任の件

※当日ご出席の際には、お手数ながら議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

※電子提供措置事項のうち、次の事項につきましては、法令及び当社定款第16条第2項の規定に基づき、書面交付請求をいただいた株主様に対して交付する書面(交付書面)には記載しておりません。なお、監査委員会及び会計監査人は次の事項を含む監査対象書類を監査しております。

- ① 事業報告の「当社の新株予約権等に関する事項」及び「業務の適正を確保するための体制」
- ② 連結計算書類の「連結持分変動計算書」及び「連結注記表」
- ③ 計算書類の「株主資本等変動計算書」及び「個別注記表」

※電子提供措置事項に修正が生じた場合には、1ページに記載の各ウェブサイトにて、修正内容を開示いたします。

議決権行使方法のご案内

ご出席される場合



株主総会出席による 議決権行使

同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出ください。

開催日時

2026年6月19日(金)
午前10時

ご出席されない場合



書面による議決権行使

同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示の上、郵送にてご返送ください。なお、各議案につき賛否のご表示のない場合は、賛成の意思表示があったものとしてお取り扱いいたします。

行使期限

2026年6月18日(木)
午後4時30分 必着



インターネットによる 議決権行使

4ページの「インターネットによる議決権行使のご案内」をご参照の上、議案に対する賛否をご入力ください。

行使期限

2026年6月18日(木)
午後4時30分 まで

議決権行使書用紙のご記入方法

こちらに、各議案の賛否をご記入ください。

賛否のご表示のない場合は、賛成の意思表示があったものとしてお取り扱いいたします。

第1号・第2号議案

- 賛成する場合 ▶ 「賛」の欄に○印
- 反対する場合 ▶ 「否」の欄に○印

第3号議案

- 全員賛成する場合 ▶ 「賛」の欄に○印
- 全員反対する場合 ▶ 「否」の欄に○印
- ▲ 一部の候補者に反対する場合 ▶ 「賛」の欄に○印をし、反対する候補者の候補者番号をご記入ください。

インターネットによる議決権行使のご案内

インターネットにより議決権を行使される場合は、下記のいずれかの方法で行ってくださいますようお願い申し上げます。



QRコードを読み取る方法

「ログイン用QRコード」を読み取りいただくことで、「ログインID」及び「仮パスワード」が入力不要でログインいただけます。

1 QRコードを読み取る

お手持ちのスマートフォンにて、同封の議決権行使書用紙の副票(右側)に記載の「ログイン用QRコード」を読み取る。

議決権行使書用紙の副票(右側)



ログイン用
QRコード

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

2 議決権行使方法を選ぶ

議案賛否方法の選択画面が表示されるので、議決権行使方法を選ぶ。



3 各議案の賛否を選択

画面の案内にしたがって各議案の賛否を選択する。

画面の案内にしたがって
行使完了です



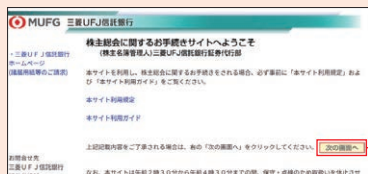
ログインID・仮パスワードを入力する方法

議決権行使ウェブサイト

<https://evote.tr.mufig.jp/>



1 議決権行使ウェブサイトへアクセスする



「次の画面へ」を
クリック

2 ログインする

お手元の議決権行使書用紙の副票(右側)に記載された「ログインID」及び「仮パスワード」を入力する。



「ログイン」を
クリック

以降は、画面の案内にしたがって賛否をご入力ください

複数回行使された場合の議決権の取扱いについて

書面とインターネットにより重複して議決権を行使された場合

▶インターネットによる議決権行使の内容を有効とさせていただきます。

インターネットにより複数回議決権を行使された場合

▶最後に行使された内容を有効とさせていただきます。

ご注意事項

※議決権行使ウェブサイトへのアクセスに際して発生する費用(インターネット接続料金、通信料金等)は、株主様のご負担となります。

※インターネットのご利用環境によっては、議決権行使ウェブサイトをご利用いただけない場合がございます。

※詳細は、右記のお問い合わせ先にご連絡ください。

お問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部(ヘルプデスク)
電話 0120-173-027
(通話料無料)

受付時間 午前9時から午後9時まで



インターネットによる ライブ配信・事前質問受付のご案内

本株主総会の様子をご自宅等からでもご視聴いただけるよう、株主様向けのインターネットによるライブ配信を行います。また、本株主総会に先立って、事前質問をご提出いただけます。

ライブ配信視聴方法・事前質問登録方法

株主総会オンラインサイト「Engagement Portal」から、ご視聴・ご登録いただけます。

- 1 パソコン又はスマートフォン等で以下のURLを直接ご入力いただくか、QRコードを読み込んでいただくかの方法により、株主総会オンラインサイト「Engagement Portal」(以下「本ウェブサイト」といいます。)へのアクセスをお願いいたします。
- 2 本ウェブサイトにて以下のログインIDとパスワードを入力し、利用規約をご確認の上、「利用規約に同意する」にチェックを入れた後、「ログイン」ボタンのクリックをお願いいたします。

URL

<https://engagement-portal.tr.mufg.jp/>



ログインID・パスワードについて

① ログインID

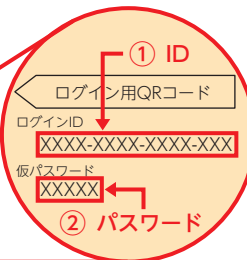
議決権行使書用紙の右側に記載されている「**ログインID**」(15桁の半角英数字)

② パスワード

議決権行使書用紙の右側に記載されている「**仮パスワード**」(6桁の半角数字)

※ログインID及びパスワードは、議決権行使書を投函される前に必ずお手元にお控えください。

項目	記載内容
株主ID	XXXXXXXX-XXXX-XXXX-XXXX
仮パスワード	XXXXXX



ライブ配信視聴

ログイン後の画面に表示されている「当日ライブ視聴」ボタンをクリックし、利用規約をご確認の上、「利用規約に同意する」にチェックを入れた後、「視聴する」ボタンのクリックをお願いいたします。



事前質問登録

ログイン後の画面に表示されている「事前質問」ボタンのクリックをお願いいたします。ご質問カテゴリを選択し、ご質問内容等を入力した後、利用規約をご確認の上、「利用規約に同意する」にチェックし、「確認画面へ」ボタンのクリックをお願いいたします。ご入力内容をご確認後、「送信」ボタンのクリックをお願いいたします。



ライブ配信日時

2026年6月19日(金曜日)午前10時から
本株主総会終了時刻まで

※当日のライブ視聴ページは、開始時刻30分前の午前9時30分頃よりアクセス可能となります。



事前質問受付期限

2026年6月7日(日曜日)
午後5時まで

ご留意事項

ライブ配信について

- (1) インターネットによるライブ配信で本株主総会をご視聴いただくことは、本株主総会への出席とは認められないため、議決権の行使や質問を含めた一切のご発言を行っていただくことはできません。
議決権につきましては、議決権行使書用紙又はインターネットにより事前に行ってくださいますようお願い申し上げます(事前行使の方法は、3ページから4ページをご参照ください。)
- (2) ご視聴は、株主様ご本人のみに限定させていただきます。
- (3) ライブ配信の撮影・録画・録音・保存及びSNS等での公開等は、固くお断りいたします。
- (4) ご使用の端末(機種、性能等)やインターネットの通信環境(回線状況、通信速度等)により、映像や音声に不具合が生じる場合がございますので予めご了承ください。
- (5) ご視聴いただくための通信料金等は、株主様のご負担となります。
- (6) インターネットによるライブ配信用の会場の撮影につきましては、株主様のプライバシー等に配慮し、スクリーン映像及び役員席付近のみとさせていただきますが、当日ご来場の株主様が映り込んでしまう場合がございますので、ご了承ください。
- (7) やむを得ない事情により、ライブ配信ができなくなる可能性があります。その場合は、当社ウェブサイトにてお知らせいたします。
<https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/shareholder/meeting/>

事前質問について

- (1) ご質問は、本株主総会の目的事項に関わる内容に限らせていただきます。
- (2) ご質問は、お一人様につき1問200字以内とさせていただきます。
- (3) いただきましたご質問のうち、株主の皆様のご関心が高いと思われるものを中心に、本株主総会当日に回答させていただきます。
- (4) いただいた質問全てに回答することをお約束するものではありません。また、個別の対応はいたしかねますのでご了承ください。
- (5) ご利用いただくための通信料金等は、株主様のご負担となります。

インターネットによるライブ配信・事前質問受付に関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

0120-676-808(通話料無料)

受付時間

午前9時から午後5時まで

土日・祝日を除く。ただし、株主総会当日は午前9時から株主総会終了時刻まで



成果を確かめ、課題に向き合いながら 2030年への歩みを進めます

取締役
代表執行役社長
最高経営責任者

中村 茂雄

2030年に向けた価値創造の現在地

私が代表執行役社長に就任して2年目となりました。昨年の1年間では、国内外の事業・生産・研究の現場を訪れ、従業員や取引先、投資家の皆様と直接対話を重ねてまいりました。こうした経験を通じ、人財、技術、顧客、組織の無形資産こそが、当社グループの持続的な価値創造を支える基盤であることを改めて認識しております。

当社グループは、「アミノサイエンス[®]」^(注1)で、人・社会・地球のWell-being^(注2)に貢献する」という志(パーパス)のもと、ASV^(注3)経営を推進してまいりました。2025年度は、パーパスを起点に構想し、実行につなげることで、そしてそれを担う人財と組織づくりに注力した1年でした。主力事業では、食品事業の着実な成長や、電子材料事業を中心としたバイオ&ファインケミカル事業の力強い成長など、成果が表れています。一方で、グローバルでの人財配置や知見の横展開、生産性向上、経営資源配分の高度化といった課題も明確になっています。

「中期ASV経営 2030ロードマップ」では、食品事業を持続的に成長させながら、バイオ&ファインケミカル事業を飛躍的に伸ばし、あわせて両事業の融合による新たな価値を創出することも成長の柱としています。また、ASV経営の根幹であるサステナビリティの推進を通じ、社会課題への対応と資本効率を重視した経営を両立させながら、「人」「モノ」「金」「情報」に加え「時間」を経営資源と捉え「高速開発システム」で持続的な成長と企業価値の向上に取り組んでまいります。

(注) 1. アミノ酸のはたらきに徹底的にこだわった研究プロセスや実装化プロセスから得られる多様な素材・機能・技術・サービスを総称したものです。また、それらを社会課題の解決や“Well-being”への貢献につなげる、味の素グループ独自の科学的アプローチ。

2. 健康で幸せな状態。

3. Ajinomoto Group Creating Shared Valueの略。事業を通じて社会価値と経済価値を共創する取り組み。

2025年度の業績と今後の見通し

2025年度の業績ですが、調味料・食品セグメント及びヘルスケア等セグメントの増収等により、前期を531億円上回る1兆5,837億円(前期比103.5%)となりました。事業利益^(注4)は、ヘルスケア等セグメント及び調味料・食品セグメントの増益等により、前期を218億円上回る1,811億円(前期比113.7%)となりました。

2026年度の業績については、タピオカ等の一部原燃料を除き、原燃料価格は総じて安定的に推移し、世界経済は、地域ごとに濃淡はあるものの緩やかに拡大、と想定されます。当社は、付加価値の高い製品の提供に継続的に取り組むとともに、中東情勢緊迫化への対応を着実に実行することにより、「中期ASV経営 2030ロードマップ」の実現を目指してまいります。

(注) 4. 「事業利益」とは、「売上高」から「売上原価」、「販売費」、「研究開発費」及び「一般管理費」を控除し、「持分法による損益」を加えたものであり、「その他の営業収益」及び「その他の営業費用」を含まない段階利益です。

	売上高(億円)	前期増減(億円)	前期比(%)	事業利益(億円)	前期増減(億円)	前期比(%)
調味料・食品	9,369	409	104.6	1,430	89	106.6
冷凍食品	2,903	9	100.3	84	△45	65.0
ヘルスケア等	3,415	131	104.0	662	205	145.1
その他	149	△17	89.4	60	△3	95.1
全社共通費 ^(注5)	—	—	—	△425	△27	106.9
合計	15,837	531	103.5	1,811	218	113.7

(注) 5. 各報告セグメントに帰属しない全社共通費は、従来、マネジメント・アプローチに基づき一定の基準で各報告セグメントに配分しておりましたが、各報告セグメントの業績をより適切に評価するため、当連結会計年度より各報告セグメントに配分しない方法に変更しており、前連結会計年度に当該変更を遡及適用しております。この変更に伴い、前連結会計年度における各報告セグメントのセグメント損益は調味料・食品セグメントで201億円、冷凍食品セグメントで49億円、ヘルスケア等セグメントで138億円、その他で9億円増加する一方、各報告セグメントに帰属しない全社共通費で398億円減少しております。なお、各報告セグメントに帰属しない全社共通費は、主に親会社の管理部門にかかる費用です。

結びに

当社グループを取り巻く経営環境は、今後も大きな変化と不確実性が続く想定されます。その中で重要なことは、顧客・競合・外部環境の変化を的確に捉え、中長期的な戦略を立て、変えるべきものと守るべきものを見極めながら着実に前進することです。当社グループは、新年度から執行体制を見直し、視点の多様化と意思決定力の向上を図っています。経営スローガン「ちゃんと考えて、ちゃんと実行する!」のもとで、新たな経営チームで今後もアミノサイエンス®と無形資産を磨きこみ、ASV経営を加速させ、パーパスの実現と持続的な企業価値向上に取り組んでまいります。

株主総会参考書類

第1号議案 剰余金の処分の件

当社は、中間配当と期末配当の年2回の配当を行うことを基本方針としております。

「中期ASV経営 2030ロードマップ」において「累進配当政策」を宣言し、減配せず、増配又は配当維持の方針を示しております。併せて、減損損失の計上等、非定常的な利益変動の影響を受けにくい事業利益をベースとする「ノーマライズドEPSに基づく配当」^(注1)を当社の標準的な配当計算方法として位置付けています。

(注) 1. ノーマライズドEPSに基づく配当=(事業利益×(1-味の素グループ標準税率27%))÷発行済株式総数×還元係数35%

事業利益を着実に増加させることで、今後も更なる増配を図ります。なお、3か年の総還元性向は50%以上(対親会社の所有者に帰属する当期利益)としております。

上記の方針に基づき、当期(第148期)の期末配当につきましては、以下のとおり、1株につき24円(中間配当額1株当たり24円を含め、当期の年間配当額は1株当たり48円)とさせていただきます。ご了承ください。

本議案が可決されました場合、当期の連結配当性向は34.7%となります。

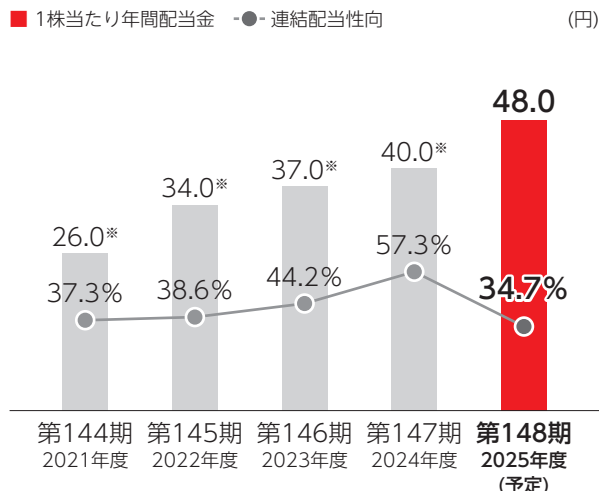
1. 期末配当に関する事項

1	配当財産の種類 金銭
2	株主に対する配当財産の割当てに関する事項及びその総額 当社普通株式1株につき……………金24円 総額……………23,021,682,648円
3	剰余金の配当が効力を生じる日 2026年6月22日

2. その他の剰余金の処分に関する事項

該当する事項はありません。

(ご参考)1株当たり年間配当金／連結配当性向



(注) 2. ※は、2025年4月1日付の株式分割(2分割)を踏まえ、過去に遡り調整(分割前配当×1/2)した金額。

第2号議案

定款一部変更の件

1. 変更の理由

執行役の事業年度における経営責任を明確にするため、執行役の任期を事業年度と合わせ、選任後1年以内に終了する事業年度の末日までとする変更を行うものであります。

なお、本議案に係る定款変更の効力は、本株主総会の終結後最初に招集される取締役会の終結の時をもって発生するものとします。

2. 変更の内容

変更の内容は、次のとおりです。

(下線は変更部分を示しております。)





現行定款	変更案
第30条 (任 期) 執行役の任期は、選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結後最初に招集される取締役会の終結の時までとする。	第30条 (任 期) 執行役の任期は、選任後1年以内に終了する事業年度の <u>末日</u> までとする。

第3号議案

取締役10名選任の件

現在の取締役11名全員は、本株主総会の終結の時をもって任期満了となります。つきましては、指名委員会の決定に基づき、取締役10名の選任をお願いいたしたいと存じます。なお、本議案が可決されました場合、取締役会に占める独立社外取締役の比率は1/2を超え、女性取締役は4名となり、その比率は1/3を超え、外国籍取締役が1名となります。

(ご参考)取締役候補者一覧

候補者番号	1	2	3	4	5
氏名	 岩田 喜美枝 (いわた きみえ)	 中山 譲治 (なかやま じょうじ)	 引頭 麻実 (いんどう まみ)	 八田 陽子 (はった ようこ)	 デイヴィス・スコット (Scott Trevor Davis)
	再任 社外 独立	再任 社外 独立	再任 社外 独立	再任 社外 独立	再任 社外 独立
現在の地位 及び担当	社外取締役 取締役会議長 指名委員 報酬委員	社外取締役 指名委員会委員長 報酬委員 監査委員	社外取締役 監査委員会委員長 指名委員	社外取締役 報酬委員 監査委員	社外取締役 報酬委員会委員長 指名委員
取締役会出席状況 (当期)	19/19回 (100%)	19/19回 (100%)	19/19回 (100%)	19/19回 (100%)	18/19回 (95%)
スキル マトリックス	経営戦略	●	●	●	●
	グローバル		●		●
	サステナビリティ	●			●
	デジタル			●	
	研究開発・生産		●		
	セールス・マーケティング				
	財務・会計			●	●
	人事・人財開発	●	●		
法務・リスクマネジメント			●	●	

- (注) 1. 中村茂雄氏の取締役会への出席状況は、2025年6月20日の取締役就任後に開催された取締役会への出席状況を記載しております。
 2. 各取締役候補者に期待するスキルを最大4つまで記載したもので、保有する全てのスキルを表すものではありません。
 3. スキルマトリックスのスキル項目の定義と選定理由は、13ページをご参照ください。

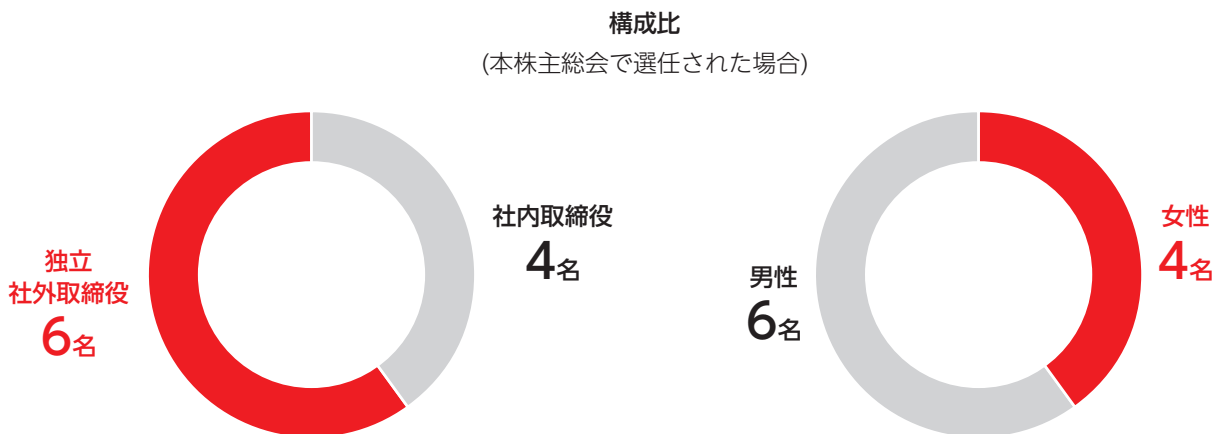
6	7	8	9	10
				
我妻 由佳子 (わがつま ゆかこ)	中村 茂雄 (なかむら しげお)	下保 寛 (かほ ひろし)	斉藤 剛 (さいとう たけし)	松澤 巧 (まつざわ たくみ)
再任 社外 独立	再任	新任	再任	再任
社外取締役 指名委員 監査委員	取締役 代表執行役社長 最高経営責任者	代表執行役副社長 Chief Human Resources Officer (CHRO)	取締役 執行役常務 Chief Transformation Officer (CXO)	取締役 常勤監査委員
19/19回 (100%)	14/14回 (100%)	—	19/19回 (100%)	19/19回 (100%)
●	●	●	●	●
	●	●	●	
	●	●	●	
	●	●	●	
		●	●	●
●				●

(ご参考)期待するスキル項目の定義と選定理由

スキル項目	定義	選定理由
経営戦略	事業に精通し、資本市場を意識した的確な戦略を監督・推進することで、持続的な成長を通じて企業価値の向上を実現するスキル	アミノサイエンス®で人・社会・地球のWell-beingに貢献する企業として、Ajinomoto Group Creating Shared Value(ASV)経営の推進を通じて味の素グループの企業価値を飛躍的に高めることに必要なため
グローバル	多様な価値観や文化を踏まえて、グローバルに事業を展開するための的確な戦略を監督・推進するスキル	事業領域のグローバルな持続的拡大に向けた、多様な価値観や文化への理解に基づく業務執行の適切な監督・推進に必要なため
サステナビリティ	持続可能な社会の実現に向けて、事業を通じて社会的課題を解決するための的確な戦略を監督・推進するスキル	社会価値と経済価値を両立させるASV経営を通じて、「10億人の健康寿命の延伸」および「環境負荷の50%削減」を実現することに必要なため
デジタル	IT・デジタル技術を駆使した、イノベーション、生産性の向上等に向けた的確な戦略を監督・推進するスキル	DXを通じて市場競争力・効率性・生産性を高め、企業価値を向上させながら、アミノサイエンス®で人・社会・地球のWell-beingに貢献する企業に変革するために必要なため
研究開発・生産	イノベティブな研究開発と安全・安心な製品・サービスを絶えず追求していくための的確な戦略を監督・推進するスキル	アミノサイエンス®によるイノベーションによって、「10億人の健康寿命の延伸」および「環境負荷の50%削減」を実現することに必要なため
セールス・マーケティング	重点事業の成長を加速させるためのブランド価値向上に向けた的確な戦略を監督・推進するスキル	市場・生活者の価値観に合致したブランドマネジメントと、「スピードアップ×スケールアップ」による成長に必要なため
財務・会計	財務・会計・税務の高度な専門性に基づき、的確な戦略を監督・推進するスキル	ASV経営による企業価値の最大化、成長投資と株主還元の実現する戦略の立案・推進、および業務執行の適切な監督に必要なため
人事・人材開発	多様な人財一人ひとりが能力を開発し、最大限に発揮するための的確な戦略を監督・推進するスキル	全ての無形資産の価値を高める原動力となる人財資産を、個人と組織の共成長により強化し、ASV経営を進化させることに必要なため
法務・リスクマネジメント	法令順守・コーポレートガバナンス・リスク管理を通じた持続的な企業価値の向上を実現するための的確な戦略を監督・推進するスキル	Ajinomoto Group Policies(AGP) ^(注) の浸透・実践を通じた持続的な企業価値の向上を実現し、ASV経営を安定的かつ着実に推進することに必要なため

(注) AGPは、味の素グループ各社およびそこに働く一人ひとりが順守すべき考え方や行動のあり方を示すと同時に、誠実に順守することをすべてのステークホルダーに約束するものです。

(ご参考) 当社取締役会の構成比・定員数など



(ご参考)取締役会の構成に関する基本方針

当社は、構成員数、社内出身者と社外出身者の割合、執行役兼任者の割合、個々の経験、能力、識見、国際性、ジェンダー、人種、民族、国籍、出身国、文化的背景等の多様性を考慮して、独立の立場から客観的に業務執行を監督することができる独立社外取締役、最高経営責任者を含む執行役を兼任する社内取締役、及び常勤監査委員である社内取締役により取締役会を構成することを基本方針としております。

11ページから12ページの取締役候補者一覧記載の専門性・知見・経験を有する候補者から構成される取締役会は、「アミノサイエンス®で人・社会・地球のWell-beingに貢献する」という志のもと、ステークホルダー等と共に社会的課題の解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、持続的な企業価値の向上に力を尽くします。

1 岩田 喜美枝 (いわた きみえ)

生年月日
1947年4月6日

再任 社外 独立



▶ 略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

1971年 4月	労働省(現 厚生労働省)入省	2012年 7月	日本航空株式会社社外取締役
2001年 1月	厚生労働省雇用均等・児童家庭局長	2015年10月	東京都監査委員
2004年 6月	株式会社資生堂取締役執行役員	2016年 3月	キリンホールディングス株式会社社外取締役
2007年 4月	同社取締役執行役員常務	2018年 6月	住友商事株式会社社外取締役
2008年 4月	同社取締役執行役員副社長	2019年 6月	株式会社リソナホールディングス社外取締役(現任)
2008年 6月	同社代表取締役執行役員副社長	2019年 6月	当社社外取締役(現任)
2012年 3月	キリンホールディングス株式会社社外監査役		
2012年 4月	株式会社資生堂取締役		

- 取締役の在任年数 7年
- 所有する当社の株式数 4,600株
- 当期における出席状況
取締役会 19回中19回(100%)
指名委員会 13回中13回(100%)
報酬委員会 14回中14回(100%)

▶ 社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要

岩田喜美枝氏は、企業経営及び企業の社会的責任に関する高い見識並びに女性の活躍支援、ダイバーシティ推進等に関する豊富な経験を有しております。2019年6月に当社社外取締役に就任以来、積極的な発言により取締役会等の議論の活性化に貢献しているほか、2021年6月から取締役会議長としてもリーダーシップを発揮し、特に経営戦略、サステナビリティ、人事・人材開発に関する領域において、大いに貢献しております。以上のことから、同領域を中心にした取締役会への貢献を期待し、指名委員会にて社外取締役候補者として決定されました。

2 中山 譲治 (なかやま じょうじ)

生年月日
1950年5月11日

再任 社外 独立



▶ 略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

1979年 4月	サントリー株式会社入社	2010年 6月	第一三共株式会社代表取締役社長兼CEO
2000年 3月	同社取締役	2017年 4月	同社代表取締役会長兼CEO
2002年12月	第一サントリーファーマ株式会社取締役社長	2019年 6月	同社代表取締役会長
2003年 6月	第一製薬株式会社取締役	2020年 6月	同社常勤顧問
		2021年 6月	当社社外取締役(現任)

- 取締役の在任年数 5年
- 所有する当社の株式数 2,300株
- 当期における出席状況
取締役会 19回中19回(100%)
指名委員会 13回中13回(100%)
報酬委員会 14回中14回(100%)
監査委員会 16回中16回(100%)

▶ 社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要

中山譲治氏は、グローバルに事業を展開するヘルスケア企業の社長、会長を歴任し、企業経営やガバナンスにおける豊富な経験とヘルスケア分野に関する深い見識を有しております。2021年6月に当社社外取締役に就任以来、これらの知見を活かし、特に経営戦略、グローバル、研究開発・生産、人事・人材開発に関する領域において、大いに貢献しております。以上のことから、同領域を中心にした取締役会への貢献を期待し、指名委員会にて社外取締役候補者として決定されました。

3 引頭 麻実(いんどう まみ)

生年月日
1962年11月6日

再任 社外 独立



- 取締役の在任年数 5年
- 所有する当社の株式数 3,300株
- 当期における出席状況
取締役会 19回中19回 (100%)
指名委員会 13回中13回 (100%)
監査委員会 16回中16回 (100%)

▶ 略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

1985年 4月	大和証券株式会社入社	2013年 4月	同社常務執行役員調査本部副本部長
1989年 8月	株式会社大和総研転籍	2016年 4月	同社専務理事
2004年 4月	大和証券SMBC株式会社 (現 大和証券株式会社)転籍	2016年12月	証券取引等監視委員会委員
2006年 4月	大和インベスター・リレーションズ株式会 社社外取締役	2020年 6月	当社社外監査役
2007年10月	株式会社大和総研転籍	2020年 6月	東京ガス株式会社社外取締役
2009年 4月	同社執行役員コンサルティング本部本部長	2021年 6月	フジテック株式会社社外取締役
2010年 8月	同社執行役員第一コンサルティング本部 本部長	2021年 6月	当社社外取締役(現任)
		2023年 6月	三井不動産株式会社社外取締役(現任)

▶ 社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要

引頭麻実氏は、証券会社やシンクタンクに長年勤務し、幅広い見識と豊富な経験を有するほか、証券取引等監視委員会委員を務め、その実績・見識は社内外に高く評価されています。2020年6月に当社社外監査役に就任以来、これらの知見を活かし、特に経営戦略、デジタル、財務・会計、法務・リスクマネジメントに関する領域において、大いに貢献しております。以上のことから、同領域を中心にした取締役会への貢献を期待し、指名委員会にて社外取締役候補者として決定されました。

4 八田 陽子(はった ようこ)

生年月日
1952年6月8日

再任 社外 独立



- 取締役の在任年数 4年
- 所有する当社の株式数 0株
- 当期における出席状況
取締役会 19回中19回 (100%)
報酬委員会 14回中14回 (100%)
監査委員会 16回中16回 (100%)

▶ 略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

1988年 8月	Peat Marwick Main & Co. (現 KPMG LLPニューヨーク事務所)入所	2015年 6月	小林製薬株式会社社外監査役
1997年 8月	同事務所パートナー	2016年 6月	株式会社IHJ社外監査役
2002年 9月	KPMGピートマーウィック税理士法人 (現 KPMG税理士法人)パートナー	2016年 6月	日本製紙株式会社社外監査役
2008年 6月	学校法人国際基督教大学監事	2019年 6月	同社社外取締役(現任)
		2022年 6月	広栄化学株式会社社外取締役(現任)
		2022年 6月	当社社外取締役(現任)

▶ 社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要

八田陽子氏は、国際的な会計事務所における豊富な経験及び国際税務等に関する高い見識を有しており、その見識は社内外に高く評価されています。2022年6月に当社社外取締役役に就任以来、これらの知見を活かし、特にグローバル、財務・会計、法務・リスクマネジメントに関する領域において、大いに貢献しております。以上のことから、同領域を中心にした取締役会への貢献を期待し、指名委員会にて社外取締役候補者として決定されました。なお、同氏は、過去に社外取締役及び社外監査役となること以外の方法で会社経営に関与したことはありませんが、上記理由により、社外取締役としての職務を適切に遂行することができるものと判断しております。

5 デイヴィス・スコット (Scott Trevor Davis)

生年月日
1960年12月26日

再任 社外 独立



▶ 略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

1990年 4月	特殊法人日本労働研究機構(現 独立行政法人労働政策研究・研修機構)専任研究員	2006年 4月	立教大学経営学部国際経営学科教授
2001年 4月	麗澤大学国際経済学部国際経営学科教授	2011年 3月	株式会社ブリヂストン社外取締役(現任)
2004年 5月	株式会社イトーヨーカ堂社外取締役	2014年 6月	SOMPOホールディングス株式会社社外取締役(現任)
2005年 9月	株式会社セブン&アイ・ホールディングス社外取締役	2023年 6月	当社社外取締役(現任)
2006年 3月	株式会社ニッセン社外監査役	2026年 4月	立教大学経営学部国際経営学科特別専任教授(現任)

- 取締役の在任年数 3年
- 所有する当社の株式数 0株
- 当期における出席状況
取締役会
19回中18回 (95%)
指名委員会
13回中13回 (100%)
報酬委員会
14回中14回 (100%)

▶ 社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要

デイヴィス・スコット氏は、立教大学経営学部国際経営学科で教授を務め、経営戦略による社会価値創造に関する理論と実践に関する高い学術知識、及びCSR、サステナビリティに関する豊富な見識を有しております。また、他社の社外取締役として、経営の重要な意思決定及び業務執行の監督に関与してきました。当社においても、2021年4月から2023年3月に至るまでサステナビリティ諮問会議の議長を務め、マテリアリティ(社会課題の解決と持続可能な発展に向けた重要課題)に関する取締役会への答申を適切に牽引してきました。2023年6月に当社社外取締役に就任以来、これらの知見を活かし、特に経営戦略、グローバル、サステナビリティ、人事・人材開発に関する領域において、大いに貢献しております。以上のことから、同領域を中心にした取締役会への貢献を期待し、指名委員会にて社外取締役候補者として決定されました。なお、同氏は、過去に社外取締役及び社外監査役となること以外の方法で会社経営に関与したことはありませんが、上記理由により、社外取締役としての職務を適切に遂行することができるものと判断しております。

6 我妻 由佳子 (わがつま ゆかこ)

生年月日
1962年6月17日

再任 社外 独立



▶ 略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

1988年 4月	弁護士登録、長島・大野法律事務所(現 長島・大野・常松法律事務所)入所	2014年 7月	隼あすか法律事務所パートナー
1993年 2月	米国ニューヨーク州弁護士登録	2015年10月	PwC弁護士法人パートナー
1997年 3月	フィリップ・モリス株式会社(現 フィリップ モリス ジャパン合同会社)入社	2016年 1月	同法人代表パートナー
1998年11月	三井安田法律事務所入所	2020年 7月	同法人パートナー
2002年 1月	同事務所パートナー	2022年 6月	小田急電鉄株式会社社外監査役
2004年 7月	伊藤見富法律事務所(現 モリソン・フォースター法律事務所)パートナー	2022年 7月	一色法律事務所・外国法共同事業パートナー(現任)
		2023年 6月	JFEシステムズ株式会社社外監査役(現任)
		2024年 6月	当社社外取締役(現任)
		2024年 6月	小田急電鉄株式会社社外取締役(現任)

- 取締役の在任年数 2年
- 所有する当社の株式数 0株
- 当期における出席状況
取締役会
19回中19回 (100%)
指名委員会
13回中13回 (100%)
監査委員会
16回中16回 (100%)

▶ 社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要

我妻由佳子氏は、日本及び米国において弁護士として培った、特に法令順守やリスク管理に関する高い見識と豊富な経験を有しております。クロスボーダーの買収、事業提携、合併事業及び国内外の企業グループ内組織再編等のプロジェクトに関する実績、及び事業会社における社外監査役の実績を多数積んでおります。2024年6月に当社社外取締役に就任以来、これらの知見を活かし、特にグローバル及び法務・リスクマネジメントに関する領域において、大いに貢献しております。以上のことから、同領域を中心にした取締役会への貢献を期待し、指名委員会にて社外取締役候補者として決定されました。なお、同氏は、過去に社外取締役及び社外監査役となること以外の方法で会社経営に関与したことはありませんが、上記理由により、社外取締役としての職務を適切に遂行することができるものと判断しております。

7 中村 茂雄(なかむら しげお)

生年月日
1967年10月13日

再任



▶ 略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

1992年 4月	当社入社	2022年 4月	当社執行役常務
2019年 6月	当社執行役員	2022年 4月	ブラジル味の素社長
2019年 6月	味の素ファインテクノ株式会社社長	2025年 2月	当社代表執行役社長
2021年 6月	当社執行理事		最高経営責任者(現任)
2021年 6月	当社アミノサイエンス事業本部化成品部長	2025年 6月	当社取締役(現任)

- 取締役の在任年数 1年
- 所有する当社の株式数 16,616株
- 当期における出席状況
取締役会 14回中14回 (100%)

▶ 取締役候補者とした理由

中村茂雄氏は、当社代表執行役社長最高経営責任者として、「アミノサイエンス®で、人・社会・地球のWell-beingに貢献する」という志(パーパス)のもと、社会価値と経済価値の両立を目指すASV経営の推進にリーダーシップを発揮しております。「高速開発システム」で「スピードアップ×スケールアップ」を基軸に、60日プランの策定と実行、ダイバーシティを推進する経営新体制の構築、主体的に挑戦する組織風土の醸成等により、「中期ASV経営 2030ロードマップ」のASV指標を前倒しで達成することを目指した取組みを加速しています。以上のことから、特に経営戦略、グローバル、研究開発・生産、セールス・マーケティングに関する領域を中心とした取締役会への貢献に期待し、指名委員会にて取締役候補者として決定されました。

8 下保 寛(かほ ひろし)

生年月日
1965年10月15日

新任



▶ 略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

1988年 4月	当社入社	2026年 4月	当社代表執行役副社長(現任)
2006年 2月	香港アモイ・フード社会長	2026年 4月	当社Chief Human Resources Officer (CHRO)(現任)
2013年 7月	当社コーポレート戦略部長		
2015年 7月	ヨーロッパ味の素社副社長		
2019年 6月	味の素冷凍食品株式会社取締役専務執行役員		
2019年 6月	同社マーケティング本部長		
2022年 4月	味の素フーズ・ノースアメリカ社社長		

- 取締役の在任年数 —
- 所有する当社の株式数 4,097株
- 当期における出席状況
取締役会 —

▶ 取締役候補者とした理由

下保寛氏は、当社入社以来、アジア・欧州などの複数の地域における海外食品事業の立ち上げと成長を牽引するとともに、味の素フーズ・ノースアメリカ社社長として、米国における冷凍食品事業の拡大にも実績を残してきました。また、2026年4月に当社代表執行役副社長及びChief Human Resources Officer(CHRO)に就任し、人財資産及び組織資産強化の責任者としてOur Philosophyの実行力を高め、全社戦略の達成や企業の持続的な競争力向上を推進しております。以上のことから、特に経営戦略、グローバル、セールス・マーケティング、人事・人財開発に関する領域を中心とした取締役会への貢献に期待し、指名委員会にて取締役候補者として決定されました。

9 齊藤 剛(さいとう たけし)

生年月日
1966年10月29日

再任



- 取締役の在任年数 3年
- 所有する当社の株式数 23,700株
- 当期における出席状況
取締役会 19回中19回(100%)

▶ 略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

1992年 4月	株式会社コーポレートディレクション入社	2019年 1月	みさぎ投資株式会社
2003年 8月	株式会社産業再生機構入社		チーフデベロップメントオフィサー
2004年11月	株式会社オーシーシー社外取締役	2019年 9月	同社執行役員
2005年 6月	カネボウ株式会社社外取締役		チーフエンゲージメントオフィサー
2005年 8月	株式会社産業再生機構 マネージングディレクター	2021年 6月	株式会社IMECS代表取締役(現任)
		2021年 7月	当社アドバイザー Chief Transformation Officer(CXO)補佐
2007年 4月	株式会社経営共創基盤 パートナー・マネージングディレクター	2023年 4月	当社執行役常務 CXO(現任)
2015年 1月	同社取締役	2023年 6月	当社取締役(現任)

▶ 取締役候補者とした理由

齊藤剛氏は、経営プロフェッショナルとして30年以上にわたり、コンサルタント、アドバイザー、投資家、経営者、取締役等の様々な立場で、事業価値・企業価値の創造と拡大に貢献し、特に、変革と進化のマネジメントについての豊富な知見と経験を有しております。当社においても、社長・副社長直轄のValue Creation Advisory Boardメンバーとして当社の企業変革に深く関わり、2023年4月から執行役常務及びChief Transformation Officer(CXO)として経営に携わり、中長期経営方針の実行を支えるとともに、企業文化変革をリードし、大いに貢献しております。以上のことから、特に経営戦略、デジタル、研究開発・生産、財務・会計に関する領域を中心にした取締役会への貢献に期待し、指名委員会にて取締役候補者として決定されました。

10 松澤 巧(まつざわ たくみ)

生年月日
1964年6月27日

再任



- 取締役の在任年数 3年
- 所有する当社の株式数 48,240株
- 当期における出席状況
取締役会 19回中19回(100%)
監査委員会 16回中16回(100%)

▶ 略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

1987年 4月	当社入社	2018年 4月	当社人事部長
2003年 7月	タイ味の素社取締役	2021年 6月	当社執行役
2011年 7月	当社人事部グローバル人事グループ長	2021年 6月	当社内部統制・監査委員会担当
2014年 7月	ブラジル味の素社常務取締役	2021年 7月	当社監査部長
2017年 6月	当社執行役員	2023年 4月	当社執行役常務
2017年 6月	当社グローバル人事部長	2023年 6月	当社取締役 常勤監査委員(現任)

▶ 取締役候補者とした理由

松澤巧氏は、当社において長年にわたり人事部門の業務に従事したほか、海外事業のマネジメントにも携わり、当社の国内外での業務に関する豊富な知見と経験を有しております。2021年6月以降は、内部統制・監査委員会担当として、また、2023年6月以降は、当社取締役 常勤監査委員として業務執行の適法性・妥当性を適切に監督し、ガバナンスやリスク管理に関する領域において、大いに貢献しております。以上のことから、特にグローバル、人事・人材開発、法務・リスクマネジメントに関する領域を中心にした取締役会への貢献に期待し、指名委員会にて取締役候補者として決定されました。

- (注) 1. 岩田喜美枝、中山譲治、引頭麻実、八田陽子、デイヴィス・スコット、我妻由佳子の6氏は、会社法施行規則第2条第3項第7号に定める社外取締役候補者であります。
2. 当社は、岩田喜美枝、中山譲治、引頭麻実、八田陽子、デイヴィス・スコット、我妻由佳子の6氏を東京証券取引所の定める独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。6氏の選任が承認された場合には、6氏を引き続き独立役員として指定する予定であります。
なお、当社における社外取締役の独立性に関する基準は21ページをご参照ください。
3. 当社は、岩田喜美枝、中山譲治、引頭麻実、八田陽子、デイヴィス・スコット、我妻由佳子の6氏との間において、会社法第427条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、会社法第425条第1項各号に定める金額の合計額としております。6氏の選任が承認された場合には、当該契約は継続されます。
4. 当社は、岩田喜美枝、中山譲治、引頭麻実、八田陽子、デイヴィス・スコット、我妻由佳子、中村茂雄、下保寛、斉藤剛、松澤巧の10氏を被保険者として、役員等賠償責任保険契約(会社法第430条の3第1項に規定する内容の保険契約)を保険会社との間で締結し、株主や第三者等から損害賠償請求を提起された場合において、被保険者が負担することになる損害賠償金・争訟費用等の損害を当該保険契約により填補することとしています。10氏の選任が承認された場合には、10氏を引き続き当該保険契約の被保険者となります。当該保険契約は、契約期間の満了時に更新される予定であります。
5. 引頭麻実氏は、当社社外取締役の就任以前に当社社外監査役であり、その在任年数1年を加えた在任年数は6年となります。
6. 八田陽子氏が小林製薬株式会社の社外監査役として在任中の2024年3月に、同社製品の摂取による健康被害が発生し、同月22日付で、同社は、当該製品の自主回収を行うことを公表し、同月27日付で、大阪市保健所より食品衛生法に違反するとして対象製品の回収を命ずる旨の行政処分を受けました。また、大阪府は、当該製品に関係する複数の同社製造拠点の立入検査を実施するなど、重大な事案として調査を進め、2025年3月19日付で、大阪府から厚生労働省へ詳細が提出されました。同氏は、当該製品の開発・製造・販売等に直接関与しておらず、当該事案の報告を受ける以前にはこれを認識しておりませんでした。それ以前から、法令順守やリスク管理の重要性について提言を行っており、また、それ以降は健康被害を受けた方への対応、法令順守の徹底、実効性のある再発防止策の実施に向けた取り組みについて助言や監督を行うなど、社外監査役としての職責を果たしておりました。
7. デイヴィス・スコット氏が社外取締役に就任しているSOMPOホールディングス株式会社の連結子会社である損害保険ジャパン株式会社は、2024年1月に、金融庁より中古車販売会社による自動車保険不正請求への対応等に関し保険業法に基づく業務改善命令を受けました。同時に、SOMPOホールディングス株式会社は、金融庁より損害保険ジャパン株式会社に対する経営管理等に関し保険業法に基づく業務改善命令を受けました。
また、損害保険ジャパン株式会社は、損害保険の保険料の調整行為等に関し、独占禁止法違反行為があったとして、2024年10月に公正取引委員会より独占禁止法に基づく排除措置命令及び課徴金納付命令を受けたほか、顧客情報の漏洩等に関し、2025年3月に金融庁より保険業法に基づく業務改善命令を受けました。同社は、同社システムに対する不正アクセスの発生及び情報漏洩の可能性に係る事案に関し、2025年6月に金融庁より保険業法及び個人情報の保護に関する法律に基づく報告徴求命令を受けました。
同氏は、平素より取締役会・委員会等にて、法令順守、グループ・ガバナンスの実効性確保及びコンプライアンス問題における真因分析の重要性等の視点から意見具申を行っておりました。また、当該事案発生後は、社外取締役として再発防止のための諸施策につき検討・意見具申を行うなど、再発防止に注力しております。
8. 各取締役候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。
9. 各取締役候補者の経歴及び取締役候補者とした理由を含む株主総会参考書類の記載は、作成時点(2026年5月14日)のものであります。

(ご参考)各取締役が所属を予定する委員会について

本議案が承認された場合、各委員会の構成は以下のとおりであります。(◎は委員長)

候補者番号	氏名	指名委員会	報酬委員会	監査委員会	備考
1	岩田 喜美枝	○	○		取締役会議長
2	中山 譲治	◎	○	○	
3	引頭 麻実	○		◎	
4	八田 陽子		○	○	
5	デイヴィス・スコット	○	◎		
6	我妻 由佳子	○		○	
7	中村 茂雄				代表執行役社長 最高経営責任者
8	下保 寛				代表執行役副社長 Chief Human Resources Officer (CHRO)
9	斉藤 剛				執行役常務 Chief Transformation Officer(CXO)
10	松澤 巧			○	常勤監査委員

(ご参考)当社における社外取締役の独立性に関する基準

当社の社外取締役が独立性を有するという場合には、当該社外取締役が以下のいずれにも該当してはならないこととします。

- (1)当社を主要な取引先とする者又はその業務執行者
 - (2)当社の主要な取引先又はその業務執行者
 - (3)当社から役員報酬以外に多額の金銭その他の財産を得ているコンサルタント、会計専門家又は法律専門家(当該財産を得ている者が法人、組合等の団体である場合は、当該団体に所属する者をいう。)
 - (4)最近1年間において、(1)から(3)までのいずれかに該当していた者
 - (5)次の①から③までのいずれかに掲げる者(重要でない者を除く)の二親等内の親族
 - ① (1)から(4)までに掲げる者
 - ② 当社の子会社の業務執行者
 - ③ 最近1年間において、②又は当社の業務執行者に該当していた者
- (注) 1. 「当社を主要な取引先とする者」とは、直近事業年度においてその者の年間連結総売上高の2%又は1億円のいずれか高い方の額以上の支払いを、当社から受けた者をいうこととします。
2. 「当社の主要な取引先」とは、直近事業年度において当社の年間連結総売上高の2%又は1億円のいずれか高い方の額以上の支払いを、当社に行った者をいうこととします。
3. 「当社から役員報酬以外に多額の金銭その他の財産を得ている」とは、直近事業年度において役員報酬以外にその者の売上高又は総収入金額の2%又は1,000万円のいずれか高い方の額以上の金銭又は財産を当社から得ていることをいうこととします。

以上

株式インフォメーション

株式に関するお手続きのご案内

お手続き・ご照会の内容	お問い合わせ先	
	証券会社の口座に記録された株式	特別口座 ^(注) に記録された株式
単元未満株式の買取・買増請求	口座を開設されている 証券会社	特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行証券代行部 0120-232-711 (通話料無料)
配当金の受領方法・振込先のご変更		
届出住所・姓名などのご変更		
マイナンバーに関するお届け・お問い合わせ		
郵便物の発送と返戻に関するご照会	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行証券代行部 0120-232-711 (通話料無料)	
株式事務に関する一般的なお問い合わせ		
支払期間経過後の配当金に関するご照会		

(注) 2009年1月の株券電子化実施日において「株式会社証券保管振替機構(ほふり)」をご利用でなかった株主様の権利を確保するために、当社が当該株主様の名義で開設した口座です。

▶ 配当金を配当金領収証との引換でお受け取りの株主様へのご案内

より安全かつ迅速に配当金をお受け取りいただける、口座振込をおすすめしております。株主様におかれましては、この機会にお受け取り方法のご変更を、ご検討くださいますようお願い申し上げます。

▶ 当社株式を特別口座でご所有の株主様へのご案内

特別口座で管理されている株式は、お取引に一定の制限がかかり、市場で売買することができません。株主様におかれましては、この機会に証券口座への移管をご検討の上、移管される場合には、特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金支払株主確定日	3月31日(期末配当) 9月30日(中間配当)
証券コード	2802
公告掲載方法	電子公告 (https://www.ajinomoto.co.jp/) ただし、電子公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人
(兼特別口座管理機関)
同 連 絡 先
三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
0120-232-711(通話料無料)
<ホームページ>
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

よくあるお問合せ
はQRコードから
ご確認ください



同 郵 送 先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部



本株主総会会場のご案内

パレスホテル東京 2階「葵」

東京都千代田区丸の内一丁目1番1号
電話 (03)3211-5211(代表)



パレスホテル東京の入口詳細図



交通機関のご案内

JR線

「東京駅」丸の内北口

から 徒歩約8分

東京メトロ

千代田線 半蔵門線
丸ノ内線 東西線

都営地下鉄

三田線

「大手町駅」C13b出口

地下通路からパレスホテル東京
地下1階に直結

最寄駅から会場までのアクセス



会場には、本株主総会専用の駐車場のご用意はございません。
公共交通機関をご利用ください。

味の素株式会社

〒104-8315 東京都中央区京橋1-15-1
<https://www.ajinomoto.co.jp/>



見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。